

■ 「革新的社会資本整備研究開発推進事業」 2019 年度第 1 回公募の

採択課題について

令和元年 12 月 25 日

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所は「革新的社会資本整備研究開発推進事業」2019 年度第 1 回公募において応募のあった 1 件の研究開発課題について、外部有識者による評価委員会の評価を踏まえて、以下の 1 課題の採択を決定したことをお知らせいたします。

採択内容

課題名	浮遊ケーソンの動揺低減技術の研究開発
代表機関名	東亜建設工業株式会社
課題の概要	<p>防波堤や護岸を築造する際に用いるケーソンについて、浮遊させて曳航する際の動揺を抑えるための減揺タンクの研究開発を行うもの。</p> <p>ケーソンの曳航・据付方法は長年にわたって大きく変わっておらず、海象条件により作業工程が制限を受けたり、作業船等が拘束される課題があった。</p> <p>本研究開発により据付作業の稼働率や、安全性、据付精度の向上が見込まれる点において革新性がある。</p>